

1 シニアの必需品として利用者急増中の「見守りケータイ」

健康を見守ってくれる携帯電話 欲しい行政サービスもワンタッチで

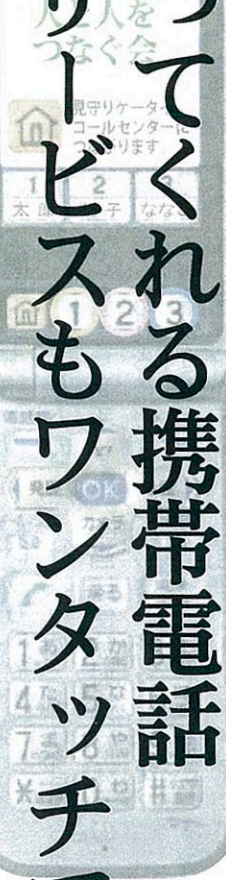
携帯電話はちょっと苦手・・・という人こそピッタリな「見守りケータイ」。いつでも簡単につながりたい人につながる、そんなシンプルな仕組みが評判で、利用者が増えています。

孤独死をなんとか防ぎたい その思いから生まれたケータイ

携帯電話を開く、そんな単純な動作が異常なく暮らしていることを伝える手段になれば、安心して生活できます。独り暮らしの高齢者のために、簡単に安否確認できる「見守りケータイ」を考案し、普及に力を注いでいるのがNPO法人「人と人をつなぐ会」です。

「見守りケータイ」が誕生した背景には、ある出来事がありました。東京・新宿にある「日本一の高齢者住宅」と呼ばれる戸山団地。「人と人をつなぐ会」の会長・本庄有由さんは、その団地の自治会役員になった二年目の年に孤独死を目の当たりにしました。

腐敗して骨が見える遺体からは強烈な臭いが部屋中に充満し、どんな



に体を洗っても何日もその臭いが消えなかったばかりか、その悲惨な光景は食事もノドを通らないほどに脳裏に焼きつきました。この出来事で「自分がなんとかしなくては」という強い気持ちを持った本庄さんは、孤独死をなくすための活動を行うNPO法人を立ち上げたのです。

「人の目で見守るには限界があります。機械に頼っていいのじゃないか」と本庄さん。思案した結果、携帯電話の可能性に着目。電話を開くと、元気でいることを知らせたい家族や親族に自動的にメールが送信される仕組みを作り上げました。

困った時にワンタッチで相談窓口 につながる便利さがうれしい

「見守りケータイ」の特徴は、安否確認に加え、日常の困り事を解決する仕組みを組み込んだところにあり

ます。例えば「高い所の電球を変えたい」、「庭の草をなんとかしたい」といった日常の困り事に無料で対応する行政サービスがありますが、内容によって相談窓口が異なるため、その窓口を探すだけでも高齢者は大変な労力を強いられます。

「見守りケータイ」は、ボタンをワンタッチするだけでコールセンターにつながる、相談内容を精査したスタッフが地域行政の適切な窓口へつないでくれるため、時間を無駄にすることもありません。

この「見守りケータイ」は「人と人をつなぐ会」があらかじめ利用する人の名前、住所、血液型、病歴、アレルギー、医者連絡先など、さまざまな情報を登録した後にお渡しする仕組みとなっています。これによって万一の時に必要な情報がすぐ伝わり、適切な処置を素早く施すこと



NPO法人 人と人をつなぐ会 会長の本庄有由さん。本人も「見守りケータイ」を利用

ができる機能を兼ね備えています。利用者は「見守りケータイ」が届いたその日から、手を煩わせることなくその機能を活用することができ、本人はもとより離れて暮らす家族にも、これ以上にならない安心を提供することでしょう。

「人と人をつなぐ会」は当初、首都圏を中心に「見守りケータイ」を提供してきましたが、現在は全国各地から注文が来るようになり、提供範囲をどんどん広げています。関心のある方は、お電話でお問合せください。

「見守りケータイ」のお申し込みお問合せ

NPO法人 人と人をつなぐ会

〒169-0073 新宿区白人中2丁目16-13 ヘレンハウス101号室

電話 **03-5330-3795**

受付時間/10:00~17:30